

お客様各位

モリナガ FASPEK エライザⅡキットのご案内

株式会社 森永生科学研究所

モリナガ FASPEK エライザⅡ測定の変更点について、以下のようにご説明いたします。
なお、本製品は基本的に FASPEK 特定原材料測定キットの試薬と同一でないため、併用することはできません。希望小売価格については変更ございません。FASPEK 特定原材料測定キットとの区別はロットナンバーおよびキットの名称・外観により判別してください。

1. 変更点の概要

変更点は構成試薬および測定操作手順となります

また、本製品の抽出用試薬は、簡易検査の“ナノトラップⅡR”と共通です

構成試薬の主な変更点

(詳細は2ページ「2. 改良品の構成について」をご参照ください)

- A液
現行品：“抽出用A液（20倍濃縮液）”55mL → 新製品：“A液（10倍濃縮液）”100mL
- B液
現行品：“抽出用B液（20倍濃縮液）”55mL → 新製品：“B液（10倍濃縮液）”100mL
現行品：2-メルカプトエタノール（医薬用外毒物） → 新製品：亜硫酸ナトリウム
- C液
現行品：“検体希釈液（20倍濃縮液）”50mL → 新製品：“C液（10倍濃縮液）”100mL
- 標準品
現行品：2-メルカプトエタノール（医薬用外毒物）使用 → 新製品：亜硫酸ナトリウム使用

測定操作手順の主な変更点

- 抽出用試薬が10倍濃縮になりましたので、検体抽出液の調製は A液、B液、C液、精製水を1：1：1：7の比率で混合となります。
- 抽出用試薬には無毒なものを使用しております。そのため、特に溶液を回収する必要がなくなります。
- 反応時間の合計が、低濃度の分解能を良くするため、1時間50分となりました（1次反応1時間、2次反応30分、発色反応20分）。
- 解析方法が4-parameter の他、直線回帰で解析できます。

2. 改良品の構成について

品名		容量	数量	現行品からの変更点
A	A液(10倍濃縮液)	100mL	1本	名称が変わり、10倍濃縮となりました。
B	B液(10倍濃縮液)	100mL	1本	名称が変わり、10倍濃縮となりました。 2-メルカプトエタノール不使用となりました。
C	C液(10倍濃縮液)	100mL	1本	名称が変わり、10倍濃縮となりました。
D	抗体固相化プレート	8ウェル×6本	2パック	
E	卵標準品(50ng/mL)	1mL	2本	2-メルカプトエタノール不使用となりました。
F	酵素標識抗卵白アルブミン抗体溶液	13mL	1本	
G	酵素基質溶液(TMB溶液)	13mL	1本	
H	反応停止液(1N硫酸)*取扱注意*	13mL	1本	
I	洗浄液(20倍濃縮液)	50mL	1本	
	プレート用フレーム		1個	
	プレート用ふた		1枚	